ふれあい通信 いずみ

平成21年1月15日発行
8号
発行
社会福祉法人　いずみ会
秋田市泉菅野二丁目17番11号
TEL.018−896−5880

地域の子育てを支える

秋田県保育士会 会長　嵯峨 ユミ子

秋田県保育士会は、保育士を中心に相互の交流を図りながら専門性の確立を目指している組織です。18年度に結成五十周年を迎え、国家資格による子育て支援を積極的に推進し、保育所への期待が増してきている所です。

昨年は、保育所保育指針が告示になり、知識の方策を学び、学習する一年間でした。保護者支援の役割を果たすことへの期待が大きくなり、社会からのニーズに応えるためにいっそう充実させる必要があり、法律の規範性をさらに高く準拠することが求められております。

少子化や核家族化の進行で社会環境の変化も子どもの育ちに大きな影響を及ぼしています。子育ての悩みの相談をする人がいないなどの実態が問題となる中で、世代間の交流の大切さが今問われています。お年寄りと子どもが自然にとけ合う取り組みが大切で、地域のコーディネーターとしての役割を十分発揮しながら健やかに育成することが重要であると考えます。

茂林憲子 書道教室

「昔は筆をもったことがあるのになかなか機会がなくて」という声がありました。

リンデンバウムいずみの会議室で、月一度書道教室を開催しております。講師は、茂林憲子先生です。先生は「孝華書院」を受け継ぎ、国内外の書道発展に寄与され、平成20年度秋田市文化章「文化団体連盟功労章」を受賞されました。

「地域ふれあいまつり」に7人の皆さまの作品を展示し、のびのびとした筆遣いに感嘆の声があがりました。興味ある方はいつでもご参加ください。歓迎します。

地域ふれあいまつりで展示

いずみ竿燈会　2尺5寸太鼓購入

子どもの体力や技量にあった大きさの太鼓がほしいとの声が強くありました。また、こども園の人数も多くなることから、適切な指導をするためにも是非購入できればと考え、久保田会長に相談したところ、「これからも竿燈という伝統文化を子どもたちに正しく継承させるために、何とか購入してやりたい」という協力支援をいただきました。写真にあるような太鼓を購入する事ができました。

竿燈の歴史は、江戸中期から積み重ねられてきました。その伝統文化に参加でき、「いずみ竿燈会」が活躍できることはすばらしいことであります。竿燈は会員の皆さまのご協力と施設の応援、利用者のよろこびの笑顔、子どもたちの歓声がひとつとなって、はじめて立ち上げることができるものであります。

ウェルビューいずみ 交流プラザ 美しいハーモニー

秋田市で音楽教室を主宰する藤原ケイ子さん（チェロ）、大谷祥子さん（ピアノ）、北嶋奏子さん（バイオリン）でつくるピアノトリオが、「きよしこの夜」などクリスマスにちなんだ曲を中心に8曲を演奏しました。中でもアンコール曲となった「崖の上のポニョ」では子どもたちが元気に歌いだし、お年寄りはその様子に目を細めていました。

事務室に人事異動がありました

ウェルビューいずみ 事務長
保坂 征勇（せいゆう）
課長から昇任

抱負について

ウェルビューいずみは、平成14年の開設以来、児童・障害・高齢の各施設において、利用者とご家族の気持ちを大事にし、ニーズに応えることができる施設をめざしています。この精神を実現するために、社会福祉法人いずみ会が一体となり、「三理念」を掲げ、地域貢献に努めてきました。

今後もこれまで築いてきたものを大切にし、心のふれあう施設づくりの推進に取り組んでまいります。宜しくお願い致します。

リンデンバウムいずみ　事務室

守屋　涼子

10月から事務室に勤務しております。まだまだ不慣れではありますが宜しくお願い致します。

ウェルビューいずみ　事務室

松本　めぐみ

11月から採用していただきました。一生懸命がんばりますので宜しくお願い致します。

祝 受賞

この度、お二人の方が国と県から表彰されました

厚生労働大臣表彰
栄養指導業務功労者
金野　洋子氏

秋田県環境・保健事業功労者
鎌田眞里子氏

編集後記

平成18年9月から月に一度「独楽庵切抜帖」を冨野己代治さんにいただき、27冊となりました。1月に94歳の誕生記念号を出しました。

人は誰でも歳をとっていきますが風邪を引いたりすると自分の肉体の衰えを極端に感じています。衰えを傍らにコツコツと積み重ねる人生を収穫期といった人がいます。冨野さんの切抜帖は、ことばを飾らず、残された時間を大切にしなさいと諭してくれているようにも思います。

福祉複合施設ウェルビューいずみ
統括部長　齊藤　寿一

紅葉ドライブ

特別養護老人ホーム リンデンバウムいずみ

昨年の紅葉ドライブは三日間に分け、仁別方面へ行ってきました。

10月24日、29日はあいにくの天気でしたが、車内でお茶を飲みながらゆっくり紅葉を楽しむことができました。

また、27日は天気にも恵まれ、車内からだけではなく車を降りて写真を撮ったり、落葉を拾ったりと紅葉を近くで感じることができて良かったです。

参加した利用者からは「また連れていってほしい」という喜びの声も聞かれました。

今回参加できなかった利用者の方々にも、他にたくさんの行事があるので、ぜひ参加して楽しんで頂きたいと思います。

紅葉の色がとてもきれいね～

★クリスマス会

ケアハウス スプリングヒル

秋のなべつこ遠足が終わり、12月は毎年恒例のクリスマス会が行われました。

シャンメリーで乾杯し、食事を楽しんだ後はチーム対抗の『ボールコロコロゲーム』で盛り上がりました。高得点を狙いボールを投げる姿は真剣で、応援の声も高まりました。個人の得点の合計をチームの得点にし、賞品が皆さんに渡りました。

ビンゴゲームは普段あまり会話する事が少ない入居者さん同士がビンゴの仕方を教え合いながら交流を深める事ができたと思います。

にぎやかに★クリスマスパーティ

こうして楽しいクリスマスが終わり、1月は新年会、大人気のスクリーンで観る映写会、月1回のお茶会と楽しい行事は続いていきます。

通所センターから「障害福祉サービスセンター」へ

平成18年4月から順次施行されている新法「障害者自立支援法」の下、昨年の10月に『通所センター』から就労移行支援事業と就労継続支援事業を新設しました。それに伴い、従来より運営していた生活介護事業と自立訓練事業とを併せ、『障害福祉サービスセンター』となりました。

就労支援事業では、地域清掃（泉語らいの家・泉コミュニティセンター・泉中央公園トイレ・千秋公園）、施設内清掃（リンデンバウムいずみ・ウェルビューいずみ）、喫茶の営業、クリーニング業務を行っています。この様な作業を通じた基礎訓練の他、就労に向けた勉強会を行うなど一般企業に就労する為に必要な知識・能力の向上や実習、職場探し等も支援しています。

新しく生まれ変わった知的障害部署では、皆さん、持ち前の明るさで活動しています。施設においでの際には是非、お声を掛けて下さい。

明るく楽しくがんばりま～す

新しい園舎ができました！

こども園 新園舎

ウエルビューいずみこども園は、昨年の4月1日に定員60名から90名となり、7月に新園舎が誕生しました。

みんなで輪になって遊べる広い保育室、行き交う人達に優しい秘密の廊下、線と色のカラフルなトイレ、遊び心がいっぱいのテラス、土の優しさが子ども達の体も心も包み込んでくれる園庭、どれもきめ細やかで暖かなぬくもりが感じられます。

今日も園舎は、子ども達の明るく元気な声と、はじける笑顔で溢れています。私達職員は、子ども達の心ときめく夢や希望がここから生まれ輝けるように、また、地域の皆さまに愛される素敵な保育園になれるように、これからも一層努力していきたいと思っています。

園庭★みんなであそぼう！

こんにちは ケアプランセンターです

私たちが、在宅介護を応援します。

リンデンバウムいずみケアプランセンターは、要介護1～5の認定を受けている方々が、安心して在宅サービスを利用できるように必要な諸手続きをお手伝いする事業所です。

当センターでは6名のケアマネージャーが約210名のご利用者を担当させていただいております。

要介護状態にある方や高齢者世帯、障害や認知症のある方々が、在宅生活を継続していくことは大変難儀なことです。上手にサービスを利用して、自分らしい生活を送ることができるよう、お手伝いさせていただいております。

なお昨年秋には、介護サービスの質の向上に役立てたいとご利用者の中から100名余の方々に、アンケートを実施させていただきました。集計結果をリンデンバウムの玄関内に閲覧できるようにしております。ご来訪の際にはどうぞご覧下さい。アンケートへのご協力に紙面をお借りしてお礼申し上げます。

ケアプランセンター事務室の風景

就業支援センターの紹介

平成16年の開設時は、全国で78ヶ所だったセンター数も現在では204ヶ所に増設されています。支援対象者は身体・知的・精神・その他と特定の障がいに限定せず対応しています。就職と生活の両方を総合的に支援するスタイルが効果的と捉えております。

※平成19年度障害者就業・生活支援センター事業実施状況（件）

実績状況	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
就業支援	306	968	42	52	1,368
職場定着支援	61	795	6	1	863
生活支援	302	2,525	114	13	2,954
就業と生活の両方	109	492	24	5	630
合計	778	4,780	186	71	5,815
就職件数	26				

デザートづくり（東部ガスにて）

特集 地域ふれあいまつり

昨年の10月5日(日)に、これまでリンデンバウムいずみを中心に開催されてきた「地域ふれあいまつり」をウェルビューいずみで行いました。

交流プラザの催しは、秋田市で演奏活動している「秋田ムジークシュヴェルマーブラス」の皆さんによる吹奏楽の演奏やこども園園児の歌や踊り、障害福祉サービスセンター利用者の合唱、マジックショー、いずみ竿燈会の演技で構成されておりました。また、地域主催のフリーマーケットやゲーム・展示・ふれあい健康コーナーなどに300名を超す皆さまに楽しんでいただきました。

「わたあめ・焼そば・いかゲソ揚げ・フライドポテト」など豊富なメニューもあっという間に完売という人気でした。もう少し品物を多くしてほしいといううれしい要望がありました。来年もまた開催します。泉地区の皆さまにも呼びかけ、ぬくもりのある「地域ふれあいまつり」をめざしていきたいと思います。

ウェルビューいずみ 交流プラザ 行事紹介

交流プラザでは、月1回行事を開催しております。

- 9月 三角バイオリンの演奏会
- 10月 地域ふれあいまつり
- 11月 秋田和洋女子高等学校の郷土芸能発表
- 12月 チェロ・バイオリン・ピアノの三重奏
- 1月 秋田大学教育文化学部附属中学校吹奏楽部演奏会と小正月餅つき
- 2月 秋田ヤートセ「わげもん」
- 3月 星あきらさんのマジックショー

●4月から新しい催しを企画しています。どなたでも入場できます。一度足を運んでみてください。お待ちしております。

社会福祉法人 いずみ会「理念」

1. 私たちは利用者や家族の気持ちを尊重し、ニーズに応えられる施設をめざします
2. 私たちは豊かな知識を身につけ、質の高いサービスを提供できる施設をめざします
3. 私たちは地域とともに力を合わせ、地域福祉に貢献できる施設をめざします